

I 平成22年度事業報告書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

1 主要な会議

(1) 理事会

区分	開催日	議案等
第1回	平成22年6月2日	①平成21年度事業報告及び決算(案)について ②評議員の選任について
第2回	平成23年3月8日	①平成23年度事業計画(案)及び収支予算(案)について ②評議員の選任について

(2) 評議員会

区分	開催日	議案等
第1回	平成22年5月26日	①平成21年度事業報告及び決算(案)について
第2回	平成23年2月28日	①平成23年度事業計画(案)及び収支予算(案)について ②理事の選任について ③役員(監事)の選任について ④最初の評議員の選任方法(案)について ⑤最初の評議員選定委員会の設置・運営規則(案)について ⑥最初の評議員選定委員会委員について ⑦最初の評議員選定委員会に推薦する委員について ⑧移行後の理事及び監事について ⑨移行後の代表理事及び常務理事について ⑩定款の変更(案)について

2 事業報告

(1) 環境学習事業

① 自主事業

ア 自然・文化体験セミナー「屋久島物語」

広く全国から参加者を募り、自然を体験したり環境文化を学ぶため、屋久島のフィールドを活用した自然観察や島内の方々との交流等を行った。

名称	実施内容	実施時期	参加者
満喫！世界遺産の新緑	太忠岳トレッキング, 春の里地散策	平成22年4月16日～19日	8人
W感動！神秘の海	シュノーケリング, 屋久杉の森トレッキング	〃 6月25日～28日	7人
集まれ！自然大好きっ子	イカダ下り, ウミガメ観察	〃 8月5日～8日	11人
集まれ！自然大好き家族	川遊び体験, トレッキング, アウトドアクッキング	〃 8月12日～15日	18人
触れる！島の伝統文化	岳参り追体験, 集落散策, 伝統芸能鑑賞	〃 10月8日～11日	4人
感じる！南の島の秋	農業体験, 紅葉トレッキング	〃 11月20日～22日	11人
計	6回		59人

イ 里のエコツアー

広く全国から参加者を募り、自然環境に負荷を与えない屋久島の里地の暮らしや伝統文化等について、体験できるエコツアーを新たに行った。

名 称	実 施 内 容	実 施 時 期	参加者
世界遺産の里めぐり①	吉田集落散策, 郷土料理, まんてん館	平成22年 5月 4日	14人
世界遺産の里めぐり②	中間集落散策, 郷土料理, 郷土芸能	〃 7月18日	19人
世界遺産の里めぐり③	小杉谷集落散策, 森林軌道トレッキング	〃 9月25日	17人
世界遺産の里めぐり④	平内集落散策, ポンカン収穫体験, 郷土芸能	〃 12月11日	24人
世界遺産の里めぐり⑤	たんかんづくしの旅(町・JA・財団共催)	平成23年2月4日～6日	6人
計	5回		80人

ウ ふるさとセミナー

島内の方々を対象に、屋久島の身近な自然を素材にしてふるさとの新たな一面を発見し、自然のすばらしさを学ぶための体験型研修を行った。

名 称	実 施 内 容	実 施 時 期	参加者
出張研修センター(栗生)	植物拓本, ネイチャーゲーム	平成22年4月24日	36人
研修センターオープンデー	楽しい理科実験, うちわ作り他	〃 7月19日	190人
冒険しよう	テント宿泊, たき火料理, キャンドル作り	〃 7月29日～30日	26人

エ 星空観察会

星座や宇宙への関心を高めるため、島内各地で季節ごとの星空観察を行った。

名 称	実 施 時 期	参加者
春の星空観察会 (栗生小学校)	平成22年 4月24日	65人
秋の星空観察会 (宮浦小学校)	〃 12月3日	56人

オ 自然に親しむ集い

環境省、屋久島町と共催で、屋久島の身近な自然のすばらしさを学ぶため、島内の方々を対象に自然観察活動や自然体験活動を行った。

名 称	実 施 時 期	参加者
シュノーケリング体験	平成22年 9月12日	7人

② 環境学習受入事業

財団が作成した学習プログラムを活用して宿泊研修、一日研修、短時間研修を行うグループの受入れを行った。

区 分	団体数	延べ参加者
宿 泊 研 修	60団体	3,665人
一 日 研 修	15団体	432人
短 時 間 研 修	19団体	431人
合 計	94団体	4,528人

③ 人材養成事業

エコツアーガイドの育成、資質向上を図るため、ガイドセミナーを行った。

名 称	実 施 時 期	参加者
ガイドセミナー「教養編」	平成23年 1月18日～20日	24人
ガイドセミナー「救急法編」	〃 2月16日～18日	24人

④ 屋久島子どもエコ隊活動事業

屋久島の小学3，4年生を対象に，体験的な環境学習を通して，自然環境に対する意識の向上を図り，屋久島の未来を担う「屋久島子どもエコ隊活動事業」を新たに実施した。

実施日	内容	参加者
平成23年3月5日（土） ～ 6日（日）	・ネイチャーゲーム ・ペットボトルクラフト作り ・石けん作り ・みつろうろうそく作り ・草木染め体験	小学生21人

⑤ 屋久島関連論文等データベース化事業

屋久島関連の研究者の資料収集やデータベース化の準備を行い，内容の充実と研究講座等への招聘に活用した。また，研究者との連携を推進するために，メーリングリストの活用を図った。

（平成23年3月末現在メーリングリスト登録者数：21人）

⑥ 屋久島高校環境学習支援

自然の中で行われる学習活動（屋久島でのエコツアーリズム，屋久杉の植生・利用の歴史調査等）を通じて，屋久島の自然環境への理解を深めたり，人と自然の関わりを考えることを目的に，屋久島高等学校環境コースの学生の宿泊研修に対し支援を行った。

また，屋久島町が姉妹木盟約を締結しているニュージーランドとの交流のため新たに屋久島高校生の派遣旅費の一部支援を行った。

名称	実施時期	参加者
夏季	平成22年 7月15日～16日	生徒 8人
秋季	” 10月28日～29日	生徒 9人
冬季	平成23年 1月27日～28日	生徒 6人
ニュージーランド派遣	平成22年 5月12日～20日	生徒 8人

⑦ 屋久島研究講座

島内の方々を対象に，屋久島についての理解を深めてもらうため，屋久島について調査研究した内容を講義形式で発表する屋久島研究講座を実施した。

回	講演日	演 題	講 師	場 所	参加者
1	6月13日	魚たちのさまざまな暮らしとその不思議 ～屋久島町口永良部島での生態研究から～	坂井 洋一 (広島大学准教授)	村センター 映像ホール	約90名
2	9月 5日	屋久島の高山で進化したミニチュア植物 屋久島の森に住むコウモリ	篠原 涉 (京都大学助教) David Hill (京都大学教授)	村センター 映像ホール	約120名
3	3月15日	屋久島の山岳信仰と島内神社・寺院めぐり	下野 敏見 (元鹿児島大学教授)	研修センター	約100名

⑧ 出張屋久島研究講座

島内の団体を対象に、屋久島の自然や文化に対する認識を深めるため、財団職員を直接地域に派遣し講演を行った。

実施日	内 容	参加者
平成22年8月19日(木) [対象：小瀬田小学 校職員]	(1) 愛子岳の植生分布、屋久島の自然遺産について (財団職員) (2) 愛子岳・屋久島の地形・地質について (財団職員) (3) 天体・星座 (財団職員)	6名

(2) 環境形成事業

① 環境保全普及啓発

環境省が作成したマナービデオを文化村センターで常時放映した。

② 山岳部利用対策

屋久島山岳部車両運行対策協議会が、環境保全と荒川登山口の混雑緩和のため3月1日～11月30日(275日)までの期間、荒川三叉路から荒川登山口までの一般車両の終日乗り入れ規制及び屋久杉自然館前～荒川登山口間の「荒川登山バス」を運行するに際し、協力・推進するとともに、縄文杉周辺等でマナー指導、パトロールを実施した。

また、山岳部トイレのし尿処理問題に関し、環境省が登山道10カ所に試験的に設置した簡易型携帯トイレの利用呼びかけを行うとともに、利用者に対するアンケート調査に協力したほか、山岳部トイレのし尿処理費用を屋久島を訪れた方々に負担してもらった「屋久島山岳部保全募金(募金額：一口500円)」について関係機関と連携を図りながら募金・広報活動を行うとともに、財団としても30万円の募金を行った。

③ 環境保全活動支援

自然共生社会づくりを推進するため、屋久島まるごと保全協会、屋久島・ヤクタンゴヨウ調査隊、屋久島町、当財団の四者で設立している「屋久島生物多様性保全協議会」に参加し、屋久島の絶滅危惧種等の貴重植物の現況分布調査や生物多様性保全に関する普及啓発の会議等を行った。

環境保全の意識向上のための啓発運動等に取り組んでいる島内の団体等に対する支援や屋久島の生物や環境保全をテーマに調査・研究する研究者に対し、新たに助成を行った。

事業区分	団 体 名	事 業 内 容
①	何かやってる会	割り箸等のリサイクル推進
②	屋久島町	シカの生息頭数調査(捕獲器5基)
③	北海道大学 立澤史郎	ヤクシカ増加による影響の整理
	九州大学 吉田茂二郎	ヤクスギ天然林の分布の推定
	東北大学 阿部晴恵	絶滅危惧種・貴重種分布調査

※事業区分：①屋久島環境保全活動支援事業 ②野生生物生息環境保全等対策支援事業 ③屋久島生物多様性保全研究活動奨励事業

④ 自然保護活動

ア うみがめ保護

うみがめの産卵環境を保護するため遮光林の植栽・維持管理や海岸清掃を行った。

- ・ 遮光林維持管理・海岸清掃

委 託 先	実 施 場 所	延べ人数
NPO屋久島うみがめ館	永田いなか浜、一湊一ツ浜・二ツ浜	74人

・グリーンワーカー事業

環境省から受託して国立公園区域内でのうみがめ上陸に支障がないよう、新たに海岸清掃を地域の方々と共同で実施した。

実施団体	実施場所	延べ人数
NPO屋久島うみがめ館	永田いなか浜、一湊一ツ浜・二ツ浜	276人
栗生バレーボールスポーツ少年団	中間浜	60人
栗生剣道スポーツ少年団	栗生浜	41人
財団直営	田代海岸	43人

・海岸清掃

実施日	実施場所	延べ人数
平成22年4月17日 (海祭り海岸清掃)	島内の海岸各所	977人
平成22年6月6日	永田いなか浜	120人

イ 屋久島の動植物の調査等事業

「屋久島の地質ガイドブック」発行に向け、資料収集や原稿依頼を行った。

(3) 交流推進事業

① 情報の収集・提供

ア 財団会報「屋久島通信」(A4版, 12ページ)の発行(9,900部)
全国の屋久島ファンクラブ会員等に対して、屋久島の情報を提供した。

号数	発行時期	内容
第45号	平成22年7月	屋久島から見える星座の特集ほか
第46号	平成22年11月	大気汚染による環境影響の特集ほか
第47号	平成23年3月	生物多様性保全の特集ほか

イ 財団機関紙「まるりん通信」の発行(6,500部)

毎月1回島内の全戸に配布し、財団の活動状況を紹介するとともに、島民の来館、参加を呼びかける情報発信を行った。

② 財団ホームページの運用

財団ホームページの情報発信機能や情報を充実させ、より多くの方に閲覧してもらえるよう、屋久島と財団の情報を島内外に発信した。

③ 屋久島ファンクラブの運営・加入促進

財団の活動を支援・協力していただくファンクラブ会員に「屋久島通信」による情報提供を行った。

また、屋久島ファンクラブへの加入促進や財団のPR等を行う「宣伝大使」の制度を活用し、出郷者会員を中心に会員増などに努めた。

ファンクラブ会員数	889人
うち会費自動振込利用者数	70人
うち22年度新規加入者数	143人

④ ボランティアネットワークの構築・運用

ア 屋久島の環境保全活動等に協力していただける人々を登録する環境文化ボランティア制度の周知に努めるとともに、ボランティアの集い、島内でのボランティア活動を行った。

① ボランティア登録者数(平成23年3月末現在) 282人

② 活動状況

開催日	活動内容	参加者	主催者
平成22年7月17日	開館記念イベント手伝い(むらせん夜祭り)	福岡ファンクラブメンバーを中心に12人(4人)	財団
7月24日・31日 8月17日・25日	山岳部保全募金活動	15人(7人)	山岳部利用対策協議会
9月18日～20日	ボランティアの集い	延べ25人(7人)	財団
10月9日	田代海岸清掃	5人(1人)	財団
11月7日	ヤクタネゴヨウ下草刈り	33人(1人)	生物多様性保全協議会
平成23年1月23日	海辺のおそうじ	68人(6人)	生物多様性保全協議会

※ () は財団ボランティア登録者の参加者数

イメージリングリストや文化村センター内に設けてあるボランティアコーナーを利用し、島内のボランティア情報を提供した。

⑤ 環境文化芸術活動支援

島外の優れた文化芸術活動を行っている方を招へいし、島民の文化芸術意識の向上を図った。

内容	開催日時	参加者
ミュージカル「オズの魔法使い」	平成22年10月16日 18:30～	250人
ピアノ&サクソポピュラーコンサート (離島開発総合センター及び研修センター)	平成23年 1月16日 13:30～15:15	250人
	〃 19:00～20:00	25人

各集落に伝わる伝統芸能の保存会へ支援を行うことにより、伝統芸能の継承や地域交流に努めた。(10万円/1団体)

集落名	保存会名称	支援内容
口永良部島	口永良部島伝統芸能	伝統芸能の保存継承活動及び格納倉庫設置
宮之浦	屋久島太鼓	口永良部島での屋久島太鼓披露と交流支援
楠川	楠川盆踊り	伝統芸能の保存継承活動
安房	如竹踊り	伝統芸能絵本制作
平内	平内棒踊り	伝統芸能備品購入

(4) 屋久島地域づくり支援事業

① エコツーリズム支援

エコツーリズム推進法に基づく「屋久島町エコツーリズム推進協議会」へ参画し、エコツーリズム推進のための全体構想策定の協議を行った。また、「里のエコツアー」を推進することを目的に町と協力し、集落の意識調査を実施した。

② 地域づくり支援

地域づくりを支援するため、イベントや地域活動等に対し支援を行った。

ア イベント枠(5万円/1団体)

実施主体	事業内容	開催日
超自然・屋久島ツーデーマーチ実行委員会	第16回超自然・屋久島ツーデー・マーチ	5月16日～17日
やくしま夏祭り実行委員会	やくしま夏まつり	7月19日～20日
屋久島ご神山祭り実行委員会	第28回屋久島ご神山まつり	8月2日～3日

イ 一般枠(5万円/1団体)

実施主体	事業内容
屋久島アース&ライフディ実行委員会	屋久島アース&ライフディ
安房区	如竹祭・六月灯
梶川区	やまいも祭り
楠川区	楠川城祭り
吉田区	吉田まんてん祭り

③ 屋久島新特産品開発プロジェクト事業

新特産品開発を目的とする3団体に支援を行い8商品を開発し、財団ホームページで紹介した。

また、女性団体が主催する「伝統食講習会」に対し、講師を派遣した。

屋久島新特産品開発への支援

実施主体	事業内容
鬼塚農園手づくり農産加工所	たんかん青切摘果実ジュース、くず花ジュース、パパイヤジャム
みどり加工部	パパイヤ調味漬け、つわぶき甘酢漬け
まんてん・平家の里協議会	とびうお味噌、ごまさば節味噌、ごまさば節せんじ味噌

(5) 財団管理運営事業

① 環境文化村構想の普及啓発

環境文化村構想を普及するため、「財団パンフレット」や「環境学習スポット」、「文化村センターリーフレット」を配布した。

また、関東屋久島会総会（11月28日：東京都）や近畿屋久島会総会（11月21日：大阪市）などの出郷者会において、環境文化村構想の普及啓発を行った。

② 効率的な管理運営の推進

効率的な管理運営や施設の利用促進のための広報に努めるとともに、平成23年度に向けた業務の見直しなどを行った。

また、環境保全募金活動の展開、賛助企業の拡大など財政基盤強化に努めた。

更に、環境文化村センターでの個人客の利便性の向上を図るため、新たに展示ホールに自動音声解説システムを導入した。

(6) 屋久島環境文化村中核施設管理運営等事業

屋久島環境文化村の中核施設である環境文化村センター及び環境文化研修センターの管理運営業務を県から受託し、その適切な管理を行うとともに、利用料増収のための修学旅行生等の団体客確保対策や経費節減による効率的な運営に努めた。

また、環境文化村センター受付カウンターを一部改修するなど、施設設備の維持管理にも努めた。

① 開館14周年記念事業

〈村センター〉

内 容	開 催 日	参加者
島民感謝デー（無料観覧）	7月17日～31日	137人
むらせん感謝デー，まるりん撮影会	7月17日	約80人
むらせん夜祭り	7月17日	約250人
映画会Ⅰ「カールじいさんの空飛ぶ家」（親子向）	7月17日	約250人
映画会Ⅱ「ディア・ドクター」（大人向）	7月19日	約100人

〈研修センター〉

内 容	開 催 日	参加者
ワクワク理科体験	7月19日	約190人
植物拓本	7月19日	
オリジナルうちわ作り	7月19日	
映画会「カールじいさんの空飛ぶ家」（親子向）	7月19日	約84人

② 交流ホール企画展示

内 容	開 催 日	備考
屋久島の地質展Ⅰ	平成22年 4月13日～ 4月23日	自主
屋久島の地質展Ⅱ	〃 5月13日～ 6月2日	自主
屋久島の自然展	〃 7月1日～ 7月15日	共催
ニュージーランド×屋久島2010交流事業報告展	〃 8月31日～ 9月12日	共催
COP10生物多様性交流フェア(屋久島)展	〃 11月2日～ 11月21日	自主
県立博物館SPP展	〃 12月12日～ 12月21日	共催

③ 交流ホール貸出展示

内 容	開 催 日
屋久島一筆箋「屋久島花だより」原画展	平成22年 4月27日～ 5月9日
西部林道の猿・鹿・森の写真展	〃 6月8日～ 6月20日
書道半紙作品展	〃 7月19日～ 7月31日
絵手紙1000枚展	〃 8月1日～ 8月29日
ヨガと養蜂を紹介する写真と絵の展示	〃 9月18日～ 10月24日
生物多様性の絵画・パネル展	平成23年 1月21日～ 2月22日
貼り絵展	〃 3月19日～ 4月8日

④ 中核施設利用者の状況

屋久島環境文化村センターの状況

【入館者数】

区 分	21年度	22年度	対前年度比
入 館 者 数	64,378人	57,898人	89.9%
うち有料観覧者数	36,697人	29,606人	80.7%

【その他施設の利用状況】

施 設 名	利用回数(延べ日数)
レクチャー室	41回(52日間)
交流ホール	13回(243日間)

イ 屋久島環境文化研修センターの状況

【利用者数】

区 分	21年度	22年度	対前年度比
利 用 者 数	4,801人	5,359人	111.6%

【その他施設の利用状況】

施 設 名	利用回数(延べ日数)
視聴覚室	1回(1日)
レクチャー室	4回(4日)